

看護学講座 育成期看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	波崎 由美子	2004. 4～
准教授	嶋 雅代	2013. 4～
講師	梅田 尚子	2023. 4～
助教	内江 希	2016. 4～2025. 3
助教	畑 実都希	2023. 4～
助教	中沢 愛実	2023. 8

2. 研究概要

研究概要

本領域は、次世代の健康と養育を担う女性と子どもに焦点を当て、女性のライフステージ全般にわたる健康支援や母子の健康問題に関する研究を主なテーマとしている。また、「ウィメンズヘルス」「母性看護学・助産学」「小児看護学」における教育の質向上とその評価にも力を注いでいる。

具体的には、科学研究費補助金を基盤とし、次のような研究を展開している。若年がん患者およびAYA世代がん患者に対する妊産性支援看護モデルの構築、高齢で生殖補助医療を受療する女性のQOL向上を目指した関連要因の探索、児への侵襲を最小限にする分娩助法における母親と新生児の健康状態の評価、妊産婦を取り巻くソーシャルサポーターへの支援のあり方の検討に加え、発達障害のある子どもとその家族への支援方法の検討、プレコンセプションケアに関する研究などである。

キーワード

妊産性支援、AYA世代がん患者、連携、協働、不妊症、生殖補助医療、妊娠期、体圧分散、寝心地、胎児娩出法、熟練助産師、分娩外傷予防、発達障がい、プレコンセプションケア

業績年の進捗状況

波崎について、2024年度は、AYA世代女性がん患者の中でも、わが国の生殖可能年齢20～30代が好発年齢である子宮頸部がん患者への妊産性意思決定支援に関する国内外の文献レビューについて、現在、論文を作成中である。また、妊産性支援に取り組んでいる福井県内のがん領域と生殖領域の看護師の領域間の連携と協働の実態と課題を明らかにするべく、12月にヒアリングを実施する。さらに全国の施設のがん領域と生殖領域の看護師の領域間の連携と協働の実態と課題についてモデルを提示するべく、フィールドを調整中である。「生後3～4か月児をもつ母親の子どもへのスキンケア行動の実態と影響要因」については、調査を終え、115例のデータを分析中である。本結果は、EAFONSで学会発表した。現在、論文を作成中である。

内江について、若手研究「児への侵襲を最小限とする分娩助法での母親と新生児の健康状態評価」において、助産所助産師が行う自然な陣痛と胎児自身の回旋力を見守る分娩助法と、施設助産師が行う教科書通りの方法での産婦と新生児の健康状態を比較した。結果として、助産所助産師が行う分娩助法では、教科書通りの方法に比較して、母親の会陰裂傷は少なく、児の子宮外生活適応はよりスムーズであったと言える。本研究の成果により、助産学テキストでの分娩助法の記載を見直し、児の侵襲を最小限とする介助方法について検討するための基礎データとなり、今後の助産師教育に役立てる一助となる。これらの結果について、日本助産学会誌に投稿予定である。また、テルモ看護研究助成金を得て、「母親のwell-being を目指した分娩助法技術における評価指標の検討」に関する研究を行った。分娩助法時における熟練者と初学者の視線を比較した結果、熟練者では一定比率で産婦の顔を見るイベントが観測されたが、初学者では認められなかった。分析対象者が各2名ずつと少なかったため、研究手法や分析方法についてさらに検討し、対象者を増やしていく必要がある。

梅田について、低出生体重を規定する要因解明に取り組んでいる。臍帯血中の脂肪酸代謝物濃度と出生体重との関連を解析した研究成果を発展させ、胎盤の寄与度を定量的に検討する研究に取り組んでいる。2024年度は臍帯血中の脂肪酸濃度と胎盤発達指標（胎盤重量・面積等）との関連を探索し、国際学会で発表している。

特色等

母性看護学・助産学および小児看護学領域の教育・研究は、母親、子ども、女性、家族の視点で、それらを取り巻く人々のより良い健康、QOLを目指すことを目的に、国内だけでなくとどまらず国外にも研究成果を発表してきた。これらは本学の理念と一致するものである。

本学の理念との関係

波崎は、基盤研究（C）「日本のAYA世代女性がん患者の妊産性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創生」に関する研究を実施している。がん治療の進歩と生殖医療技術の進歩と普及により、生殖可能年齢にある小児・AYA世代がん患者のがん治療後の妊産性保持に対する支援が必要とされている。福井県の地域医療の特性に応じたがん領域と生殖領域の医師や看護師の連携と協働が不可欠であり、その支援体制の構築を目指すものである。本研究は、地域社会に貢献する実践的な研究にあたり、本研究成果により、AYA世代女性がん患者の性の健康とクオリティオブライフへの貢献が期待できる。また、分担研究者として「生後3～4か月児をもつ母親の子どもへのスキンケア行動の実態と影響要因」について調査を実施した。近年、乳幼児期の湿疹が幼児期の食物アレルギーや気管支ぜんそくの発症リスクを高めることが明らかとなっている。生後3～4か月までの乳児は、皮膚構造の未熟さに加えて生理的な皮脂分泌量の変化が激しいことから一般的に湿疹が発生しやすい。そのため、バリア機能の補正を目的とした洗浄と保湿によるスキンケアが着目されているが、生後3～4か月児の母親が子どもにどのようなスキンケア行動を行なっているのかの実態は明らかでない。乳児期の発達段階に合わせた、湿疹予防のためのスキンケア教育を検討し、本研究成果により、慢性的な経過をめぐり、人生の長きにわたり生活に影響を及ぼすアレルギー疾患発症予防の一助となることが期待できる。

嶋は、①若手研究「後年女性に対する生殖補助医療(Assisted Reproductive Technology：以下ART) 最終後のQOL向上に向けた看護支援モデルの構築」について、研究期間を延長して進めている。研究目的は、生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology：以下ART）では、調整卵巣刺激のため高濃度のホルモン環境下におかれるが、これによる心身への影響について明らかになっていない。そのため、卵巣機能の低下が始まる年代であるART受療中の40歳以上の女性を対象に、メンタルヘルスと不妊に関するQOL、および採卵時の調整卵巣刺激による女性ホルモン血中濃度の落差に伴う更年期様症状それぞれの実態、およびこれらの関連について明らかにすることで、②妊娠に伴う身体的変化が最も大きくなる妊娠後期の妊婦において、臥床時の体圧分散、臥床体位、ベッドの頭部挙上角度と寝心地の関連について明らかにし、「妊婦にとっての寝心地のよさ」について検討することとした研究を進めている妊婦の経過に伴って体重や姿勢が変化する「妊婦の臥床時の寝心地」についての示唆が得られることにより、臥床時に適度に体圧が分散し、容易に寝返り動作ができることで良質な睡眠を確保し、妊娠期のQOLを向上させ、健やかな周産期を過ごすことにつながるという意義がある。

内江は、若手研究「児への侵襲を最小限とする分娩助法での母親と新生児の健康状態評価」において、助産所助産師が行う自然な陣痛と胎児自身の回旋力を見守る分娩助法と、施設助産師が行う教科書通りの方法での産婦と新生児の健康状態を比較した。結果として、助産所助産師が行う分娩助法では、教科書通りの方法に比較して、母親の会陰裂傷は少なく、児の子宮外生活適応はよりスムーズであったと言える。本研究の成果により、助産学テキストでの分娩助法の記載を見直し、児の侵襲を最小限とする介助方法について検討するための基礎データとなり、今後の助産師教育に役立てる一助となる。

梅田は学内競争研究助成を得て、低出生体重を規定する要因探索研究を実施している。臍帯血中の脂肪酸代謝物濃度と出生体重との関連を検討し、ある種に多価不飽和脂肪酸とそのジオール脂肪酸と出生体重との関連を明らかにしている。これをさらに発展させ、プレコンセプションケアへの応用を目指している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文		10	4		
	ファーストオーサー	1	0	6.055(6.055)	0(0)
英文論文	コレスポンディングオーサー	0	0	0(0)	0(0)
	その他	1	2	1.5(1.5)	5(5)
	合計	2	2	7.555(7.555)	5(5)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（査査有）

24009

Takaharu Hirai, Naoko Umeda, Taeko Harada, Akemi Okumura, Chikako Nakayasu, Takayo Ohto -Nakanishi, Kenji J. Tsuchiya, Tomoko Nishimura, Hideo Matsuzaki: Arachidonic acid-derived dihydroxy fatty acids in neonatal cord blood relate symptoms of autism spectrum disorders and social adaptive functioning: Hamamatsu Birth Cohort for Mothers and Children (HBC Study)., Psychiatry and Clinical Neurosciences, 78(9), 546-557, 202409, DOI: 10.1111/pcn.13710, #5

- 24010** Hata N, Miyajima H, Aoki M, Yotsuya J: Influence of different support surfaces on skin microclimate and functions, Japanese Journal of Pressure Ulcers, 26 (2), 137-143, 20240620
- b. 原著論文（審査無）
- c. 原著論文（総説）
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- e. 国際会議論文
- (3) 和文：著書等
- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- c. 編纂・編集・監修
- (4) 和文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
- 24011** 梅田尚子, 牧野富美枝, 橋本容子, 長谷川智子: 心不全患者を支援する看護師のAdvance Care Planningの【行動意図】と【行動】への影響要因—計画的行動理論による検討—, 福井大学医学部研究雑誌, 202503
- 24012** 嶋 雅代, 畑 菜都希, 四谷 淳子: 妊婦ジャケット着用における臥床時の体圧に関する検討, 日本褥瘡学会誌, 26 (2), 144-151, 20240620
- 24013** 嶋雅代 上澤悦子: 生殖補助医療受療中の40歳以上の女性における黄体期の更年期様症状、抑うつおよび不妊に関するQOLの実態とこれらの関連, 日本生殖看護学会誌, 21 (1), 5-12, 20240601
- 24014** 嶋 雅代, 上澤 悦子: 生殖補助医療受療中の40歳以上の女性における黄体期の更年期様症状、抑うつおよび不妊に関するQOLの実態とこれらの関連, 日本生殖看護学会誌, 21 (1), 5-12, 20240601
- b. 原著論文（審査無）
- c. 総説
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- 24015** 中沢愛実, 鏡真美: 緊急帝王切開となった産婦の家族に対するケアの実際と看護職の思い, 母性衛生, 65 (4), 652-661, 202501
- 24016** 加納恭子, 畑菜都希, 青木未来, 四谷淳子: 体圧分散マットレスにおける温度・湿度と皮膚生理機能の評価, 木村看護教育振興財団看護研究集録, 202407
- 24017** 嶋 雅代, 畑 菜都希, 四谷淳子: 妊婦体験ジャケット着用における臥床時の体圧に関する検討, 日本褥瘡学会誌, 26 (2), 144-151, 20240620
- e. 国際会議論文
- (B) 学会発表等
- (1) 国際学会
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- 24018** Naoko Umeda: Fatty acid in neonatal cord blood and placental function influence birth weight, 15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, Seoul, 20250213, 2025
- 24019** Nozomi Uchie, Ami Nakazawa, Masayo Shima, Yumiko Namizaki, Naoko Umeda, Natsuki Hata, Junko Yotsuya, Yurina Wada, Haruka Morotomi, Rena Kato, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma : Comparison of Eye Gaze between Experienced Midwives and Novices in the Second Stage of Labor, The 28th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 韓国 ソウル, 20250213
- 24020** 中沢 愛実 嶋 雅代 内江 希 波崎 由美子: A Study of Learning Effectiveness of a Simulation Exercise for Assisting in Childbirth Using an Augmented Reality App -Midwifery students' clarification of their own practice challenges-, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 20250213
- 24021** Nozomi Uchie, Ami Nakazawa, Masayo Shima, Yumiko Namizaki, Naoko Umeda, Natsuki Hata, Junko Yotsuya, Yurina Wada, Haruka Morotomi, Rena Kato, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma: Comparison of Eye Gaze between Experienced Midwives and Novices in the Second Stage of Labor, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 20240213
- 24022** Masayo Shima, Etsuko Kamisawa: The actual state of menopausal-like symptoms during the luteal phase in women over 40 years of age undergoing assisted reproductive technology and their association, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 20240213
- 24023** Masayo Shima Etsuko Kamisawa: The actual state of menopausal-like symptoms during the luteal phase in women over 40 years of age undergoing assisted reproductive technology and their association, 15th International Nursing Conference (INC) and 28th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), Transformative Care Initiatives on Consilience of Technology and Humanity, 202402
- 24024** Masayo Shima Etsuko Kamisawa: The actual state of menopausal-like symptoms during the luteal phase in women over 40 years of age undergoing assisted reproductive technology and their association, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 20250213
- 24025** Takaharu Hirai, Naoko Umeda, Kenji J Tsuchiya, Tomoko Nishimura, Hideo Matsuzaki.: Prediction of Autistic Symptoms and Functional Impairment By Dihydroxy Fatty Acids Derived from Arachidonic Acid in Cord Blood, NSAR 2024 Annual Meeting, 2024, Melbourne, Australia, 20240515
- 24026** Nozomi Uchie, Ami Nakazawa, Masayo Shima, Yumiko Namizaki, Naoko Umeda, Natsuki Hata, Junko Yotsuya, Yurina Wada, Haruka Morotomi, Rena Kato, Kazushi Ikeda, Hiroaki Wagatsuma : Comparison of Eye Gaze between Experienced Midwives and Novices in the Second Stage of Labor, The 28th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, 20250213
- e. 一般講演

業績一覧

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24027

森木律子、嶋雅代、波崎由美子：学齢期の知的障害を伴う自閉スペクトラム症児の肥満に対する母親の認識 一食生活と余暇時間の過ごし方に焦点をあてて、日本小児看護学会第34回学術集会、大阪市、20240706

24028

中沢愛実 鏡真美：緊急帝王切開となった産婦の家族に対するケアの実際と看護職の思い、第44回日本看護科学学会学術集会、20241207

d. 一般講演（ポスター）

24029

内江希 中沢愛実 嶋雅代 波崎由美子 梅田尚子 畑菜都希 四谷淳子 和田有里菜 諸富遥 古賀嵩大 池田和司 我妻広明：分娩第2期の児頭娩出時における熟練助産師と初學者の視線についての比較、第12回看護理工学会学術集会、分娩第2期の児頭娩出時における熟練助産師と初學者の視線についての比較、20241102

24030

男子中学生の母親、父親における男子へのヒトパピローマウイルスワクチン接種に関する意識、第44回日本看護科学学会学術集会、20241207

24031

助産学実習前に行うシミュレーション演習とリフレクションに活用できるAugmented Realityアプリの開発と学習効果の検討、第12回看護理工学会学術集会、石川県かほく市、20241102

24032

畑菜都希、四谷淳子、青木未来、和田海成、丹羽昭乃、近藤未菜、岡本智子：臥床時の静止型体圧分散マットレスにおける性能評価の検討、第12回看護理工学会学術集会、20241102

24033

ウレタンフォームマットレス臥床時のマイクロクライメットと皮膚生理機能に与える影響、第26回日本褥瘡学会学術集会、20240906

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24034

原すず、日置清楓、服部日向、内江希、波崎由美子、嶋雅代、中沢愛実、梅田尚子、畑菜都希：妊娠期における母親の出産準備に関する情報探索行動の実態、第37回福井県母性衛生学会学術集会・総会、永平寺町、20240630、第37回福井県母性衛生学会学術集会・総会プログラム・抄録集、37(1)、22

24035

エアマットレスの違いがマイクロクライメットと皮膚生理機能に与える影響、第19回日本褥瘡学会中部地方会学術集会、20240317

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科 研 費 ・ 研 究 助 成 金 等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	日本のAYA世代女性がん患者の妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤悦子, 内江希	20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	AYA世代女性がん患者妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤 悦子, 内江 希	20230401-20260331	¥910, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	熟練助産師の技を伝える新たな分娩介助技術習得のためのVR教材の開発	内江 希	三反崎 宏美, 上澤 悦子, 四谷 淳子, 嶋 雅代, 波崎 由美子, 梅田尚子	20220401-20260331	¥390, 000
文部科学省科学研究費補助金	研究活動スタート支援	臍帯血出生コホートによる可溶性エボキシド加水分解酵素と自閉症特性の相関解析	畑 菜都希		20230831-20260331	¥1, 430, 000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	若手研究	生殖補助医療による女性ホルモン変動落差に伴う健康状態とヘルスリテラシーの関連	嶋 雅代		20220401-20260331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	高年女性に対するART終了後のQOL向上に向けた看護支援モデルの	嶋 雅代		20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	高年女性に対するART終了後のQOL向上に向けた看護支援モデルの	嶋 雅代		20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	日本のAYA世代女性ががん患者の妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤悦子, 内江希	20190401-20250331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	AYA世代女性ががん患者妊孕性意思決定パートナーシップ看護支援モデルの創成	波崎 由美子	上澤 悦子, 内江 希	20230401-20260331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	生殖補助医療による女性ホルモン変動落差に伴う健康状態とヘルスリテラシーの関連	嶋 雅代		20220401-20260331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	熟練助産師の技を伝える新たな分娩助産技術習得のためのVR教材の開発	内江 希	三反崎 宏美, 上澤 悦子, 四谷 淳子, 嶋 雅代, 波崎 由美子, 梅田 尚子	20220401-20260331	¥390,000
文部科学省科学研究費補助金	研究活動スタート支援	膵膵出血生コホートによる可溶性エボキシド加水分解酵素と自閉症特性の相関解析	畑 菜都希		20230831-20260331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	慢性疾患患者が最期まで自分らしい生活を継続できるためのセルフマネジメントの実現	長谷川智子		20240401-20280331	

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	1
受入金額	¥1,000,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本看護科学学会	一般会員	波崎 由美子
日本助産学会	一般会員	波崎 由美子
日本家族看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本ウーマンズヘルス学会	一般会員	波崎 由美子
日本助産師会	一般会員	波崎 由美子
日本母性看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本生殖看護学会	一般会員	嶋 雅代
日本母性衛生学会	一般会員	嶋 雅代
日本母性看護学会	一般会員	嶋 雅代
日本不妊カウンセリング学会	一般会員	嶋 雅代
日本災害看護学会	一般会員	嶋 雅代
福岡県母性衛生学会	一般会員	嶋 雅代
日本助産学会	一般会員	嶋 雅代
日本助産学会	一般会員	内江 希
福岡県母性衛生学会	一般会員	内江 希
日本母性衛生学会	一般会員	内江 希
日本母性衛生学会	一般会員	中沢 愛実

業績一覧

日本助産学会	一般会員	中沢 愛実
日本小児看護学会	一般会員	高村 理絵子
日本看護技術学会	一般会員	高村 理絵子
日本災害看護学会	一般会員	高村 理絵子
福井県小児保健協会	一般会員	高村 理絵子
日本小児臨床アレルギー学会	一般会員	飯田 悠希子
福井県小児保健協会	一般会員	飯田 悠希子
日本褥瘡学会	一般会員	畑 菜都希
日本創傷治療学会	一般会員	畑 菜都希
日本創傷・オストミー・失禁管理学会	一般会員	畑 菜都希
日本児童青年精神医学会	一般会員	畑 菜都希
日本看護科学学会	一般会員	畑 菜都希
日本脳科学学会	一般会員	畑 菜都希
看護理工学会	一般会員	畑 菜都希
日本看護科学学会	一般会員	
日本褥瘡学会	一般会員	嶋 雅代
日本小児看護学会	一般会員	
看護理工学会	一般会員	嶋 雅代
日本看護科学学会	一般会員	嶋 雅代
日本生殖看護学会	一般会員	内江 希
日本小児看護学会	一般会員	波崎 由美子
日本がん看護学会	一般会員	梅田 尚子
日本看護研究学会	一般会員	梅田 尚子
日本DOHAD学会	一般会員	畑 菜都希
日本看護科学学会	一般会員	梅田 尚子
日本看護診断学会	一般会員	梅田 尚子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	梅田 尚子
日本脳科学学会	一般会員	梅田尚子
日本DOHAD学会	一般会員	梅田尚子
日本児童青年精神医学会	一般会員	梅田尚子
日本エンドオブライフケア学会	一般会員	梅田尚子
日本看護学教育学会	一般会員	梅田 尚子
日本看護科学学会	一般会員	嶋 雅代
日本生殖看護学会	一般会員	
福井県小児保健協会	一般会員	
福井県母性衛生学会	理事	波崎 由美子
日本母性衛生学会	代議員	波崎 由美子

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演(口演)	第37回福井県母性衛生学会総会・学術集会	
一般講演(ポスター)	第65回日本母性衛生学会学術集会	

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
母性衛生	査読	委員	日本母性衛生学会	1
第65回日本母性衛生学会学術集会	査読		波崎 由美子	6
母性衛生	査読	委員	日本母性衛生学会	1

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	福井大学大学院医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター	看護キャリアアップ部門認定看護師教育課程教員会		20240401-20250331
	福井大学大学院医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター	看護キャリアアップ部門 特定行為研修管理委員会		20240401-20250331
	福井大学大学院医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター	看護キャリアアップ部門 特定行為研修管理委員会		20220401-20230331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項